



高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



第1回愛校作業(8月20日・日曜日)

8月20日(日)に「令和5年度第1回愛校作業」を実施しました。

当日は1、3年生の生徒、保護者約160名が参加しました。6時30分から8時30分までの2時間「小島の森周辺」「グラウンド周辺」に分かれて作業を行いました。掃除時間やボランティア活動だけではなかなか手が行き届かない場所(花壇、側溝)も短時間できれいになりました。また、草刈り機、軽トラックを持参していただいた保護者の協力のおかげで、作業もスムーズに進めることができました。

参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今後とも、PTA活動にご協力よろしくお願い申し上げます。



高崎夏まつりボランティア活動

8月19日(土)、3年生を中心に午前、午後合わせて28名の生徒が高崎夏祭りボランティア活動を行いました。

朝、8:30から始まった準備も積極的に活動した生徒が多く、商工会の方々にお褒めの言葉をいただきました。

祭りに参加する楽しみから、祭りを「つくる」喜びを感じたのではないのでしょうか。



「たちばな荘」夏祭りボランティア活動

7月29日(土)「たちばな荘夏まつり」でボランティア活動を行いました。

学校運営協議会委員でもある山田施設長からの依頼で、当日の準備、施設利用者との交流をしました。数年ぶりの「まつり」だったので、施設利用者の方々も中学生との交流を大変喜んでおられました。2年生は、職場体験学習でも「たちばな荘」での活動が予定されています。



教頭の霧島日記

「備えあれば憂いなし」

夏季休業も終わり2学期がスタートしました。それぞれの夏休みを過ごした生徒たちが元気に登校してきました。

この夏、ニュースでは、水難事故、熱中症等で尊い命が亡くなったという報道がありました。その度に、本校の生徒は「元気に過ごしているだろうか」と心配になりました。

ところで、日本では年間に約6万人が、心臓が原因の突然死に見舞われていますが、その場にAEDがあればその中のかなりの部分の人は救うことができます。元サッカー日本代表松田直樹さんが練習中に倒れ、亡くなったのは10年前の8月4日です。練習会場にはAEDがなかったそうです。このことをきっかけにAEDの普及は急激に広まっていきました。そして、現在では、より多くの命を救うためにAEDは、外に設置されるようになりました。(本校では玄関横に設置しています。)

8年ほど前、部活動の引率中倒れた先生がいました。近くにいた他の先生がAEDを取りに校舎内に行き、居合わせた医療従事者の保護者がAEDを用いて、一命を取りとめました。

「備えあれば憂いなし」(もしものことを想定してあらかじめ準備しておけば、何か起こったとしても心配ない)という言葉があります。最善の備えをするとともに、安心して安全な学校生活を送れるよう万全を期していきます。

